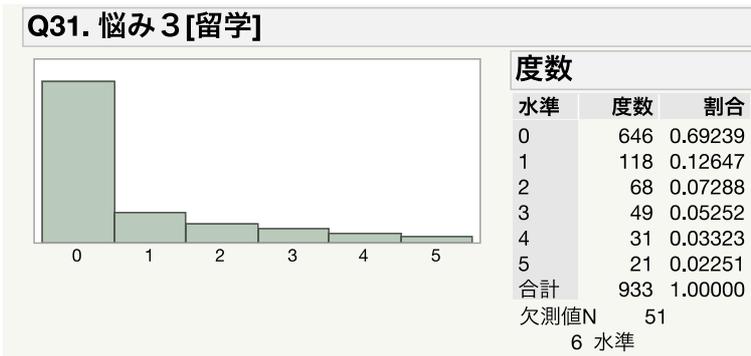
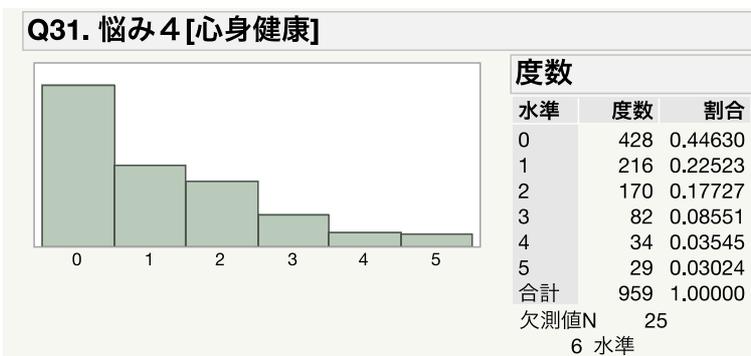


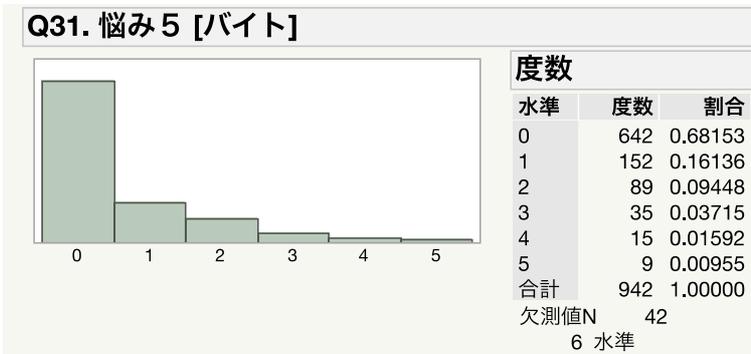
<留学>



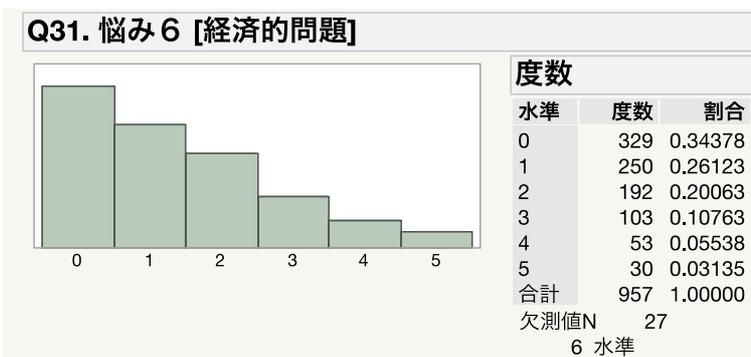
<心身の健康>



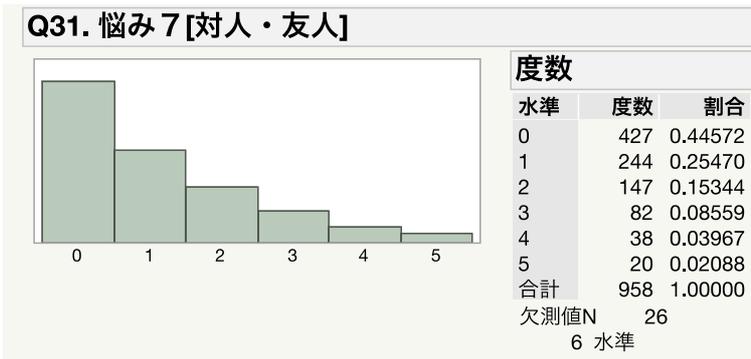
<アルバイト先での問題>



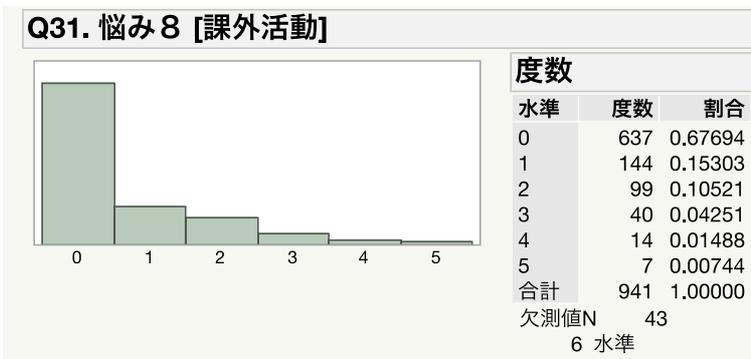
<経済的問題>



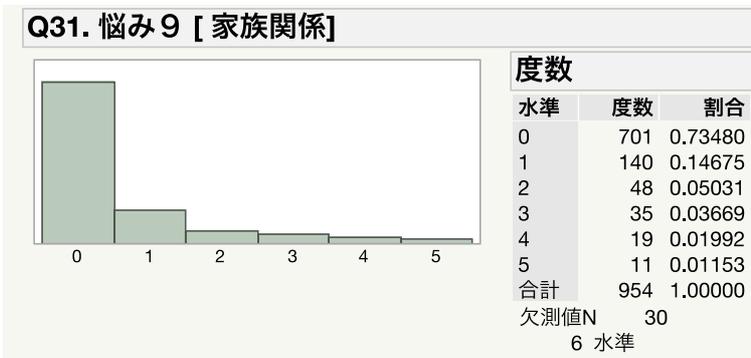
<対人・友人関係>



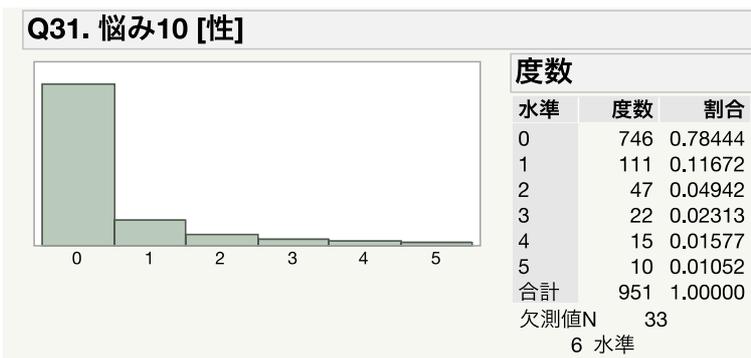
<課外活動>



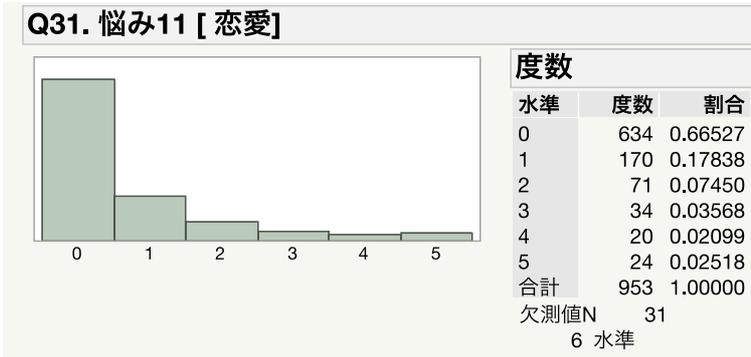
<家族関係>



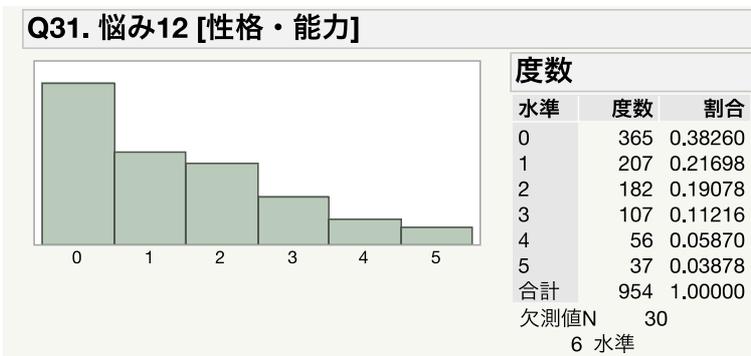
<性の悩み>



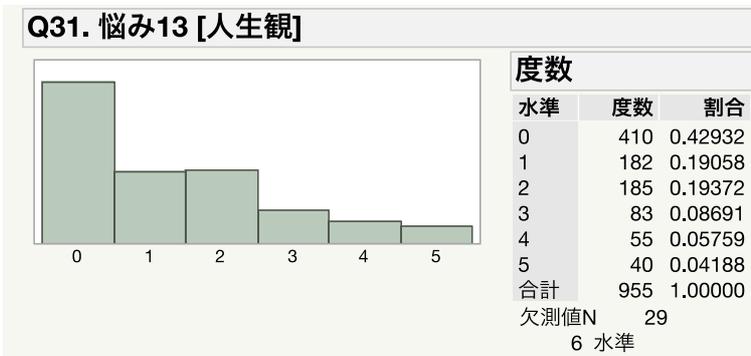
<恋愛の悩み>



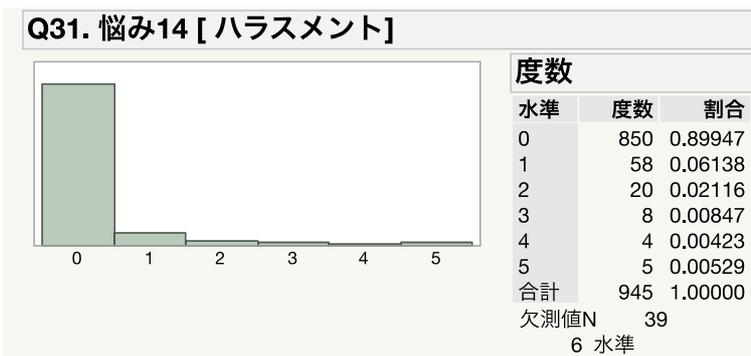
<性格・能力>



<人生観>



<ハラスメント>



<平均値と標準偏差の一覧>

		人数	平均	標準偏差	平均の標準誤差	平均の上側95%	平均の下側95%
悩み1	[進路・就職]	960	2.76	1.35	0.04	2.84	2.67
悩み2	[学業・授業]	959	1.58	1.33	0.04	1.67	1.50
悩み3	[留学]	933	0.68	1.24	0.04	0.75	0.60
悩み4	[心身健康]	959	1.13	1.32	0.04	1.21	1.05
悩み5	[バイト]	942	0.57	1.02	0.03	0.64	0.51
悩み6	[経済的問題]	957	1.36	1.36	0.04	1.45	1.28
悩み7	[対人・友人]	958	1.08	1.28	0.04	1.16	1.00
悩み8	[課外活動]	941	0.59	1.02	0.03	0.65	0.52
悩み9	[家族関係]	954	0.49	1.02	0.03	0.56	0.43
悩み10	[性]	951	0.40	0.94	0.03	0.46	0.34
悩み11	[恋愛]	953	0.64	1.16	0.04	0.72	0.57
悩み12	[性格・能力]	954	1.36	1.43	0.05	1.45	1.27
悩み13	[人生観]	955	1.28	1.44	0.05	1.37	1.19
悩み14	[ハラスメント]	945	0.17	0.63	0.02	0.21	0.13

参考：2021年度

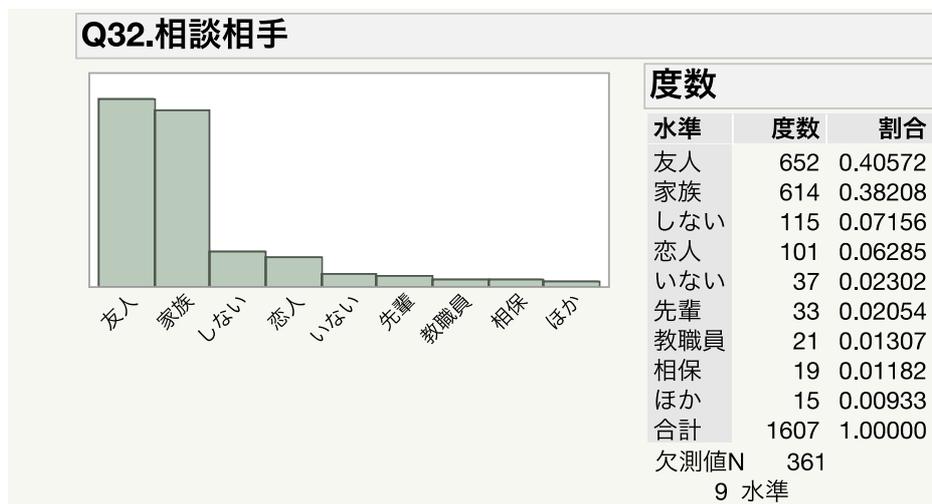
	平均	標準偏差
Q30. 悩み1 [進路・就職]	2.99	1.35
Q30. 悩み2 [学業・授業]	1.90	1.39
Q30. 悩み3 [留学]	0.73	1.25
Q30. 悩み4 [心身健康]	1.22	1.39
Q30. 悩み5 [バイト]	0.58	1.02
Q30. 悩み6 [経済的問題]	1.43	1.44
Q30. 悩み7 [対人・友人]	1.12	1.30
Q30. 悩み8 [課外活動]	0.72	1.15
Q30. 悩み9 [家族関係]	0.48	0.98
Q30. 悩み10 [性]	0.46	1.00
Q30. 悩み11 [恋愛]	0.66	1.13
Q30. 悩み12 [性格・能力]	1.42	1.44
Q30. 悩み13 [人生観]	1.35	1.47
Q30. 悩み14 [ハラスメント]	0.20	0.63

昨年と同様、「進路・就職」の平均値が格段に高い。かなり差はあるが次は「学業・授業」、「経済的問題」、「性格・能力」、「人生観」そして「心身の健康」「対人・友人関係」と続き、ここまでが平均値 1.0 以上である。その他の項目の平均値は 1.0 未満ではあるが、平均値は低くても、ヒストグラムに示したように、すべての項目において 5（耐え難いほど）と回答している学生が人数は少ないながらも存在していることはきちんと認識せねばなるまい。学生支援センターでは HP に「困った時/ヘルプが欲しい時」というページを設け (<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/>)、さまざまなチャンネルを通じて学生の支援を試みているが、そのようなチャンネルについてのより一層の周知を試みたいと考える。

Q32 不安や悩みを相談している相手は誰ですか(主な相手を 2 つまで)

- ①家族 [家族]
- ②友人 [友人]
- ③恋人 [恋人]
- ④先輩 [先輩]

- ⑤大学の教職員 [教職員]
- ⑥学生相談室・保健室 [相保]
- ⑦相談できるひとがない [いない]
- ⑧他人には相談しない [しない]
- ⑨その他 [ほか]



相談相手として「友人」が約41%、「家族」が約38%と圧倒的に割合が大きい。一方で「教職員」（大学の教職員）と「相保」（学生相談室・保健室）については昨年度から改善されず約1%程度に留まっている。この結果をみると、学生の相談がしやすい仕組みづくりに関して、より検討していく必要があると考えられる。

学年	友人	家族	しない	恋人	いない	先輩	教職員	ほか	相保
1	39.9	38.8	7.4	6.6	2.1	2.2	1.3	0.8	1.0
2	42.7	37.1	7.1	6.1	2.7	2.2	1.0	0.5	0.7
3	39.0	39.7	6.9	5.1	2.1	1.4	1.7	2.1	2.1
4	40.7	37.0	7.0	7.0	2.6	2.2	1.1	0.7	1.5

「友人」と「家族」の割合については、学年別にみても特段の違いは認められない。しかし、「相保」（学生相談室・保健室）と「教職員」（大学の教職員）については、3・4年生に比べて1・2年生の割合が低いことが気になるところである。

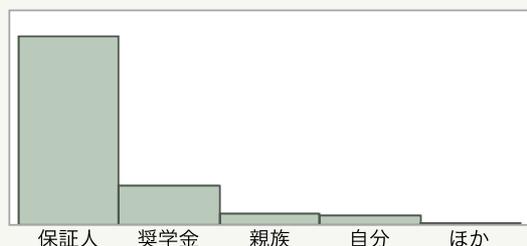
【経済状態・アルバイト】

Q33 学費の金額を最も多く負担しているのは次のどれですか。

- ①保証人（親など） [保証人]
- ②自分 [自分]

- ③奨学金 [奨学金]
- ④祖父母等親族 [親族]
- ⑤その他 [ほか]

Q33. 学費負担者



度数

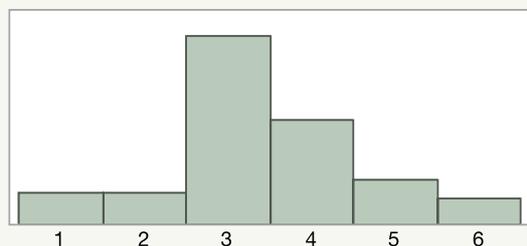
水準	度数	割合
保証人	740	0.77325
奨学金	146	0.15256
親族	38	0.03971
自分	32	0.03344
ほか	1	0.00104
合計	957	1.00000
欠測値N	27	
5 水準		

最頻値は「保証人」（保証人（親など））で約 77%であった。次いで「奨学金」が約 15%と続き、合計して約 93%を占めている。一方で全体の約 3%が「自分」であり、学費を自身で支弁していることがわかる。

Q34 現在の家庭の経済状況はいかがですか。

- ①余裕がある
- ②やや余裕がある
- ③普通
- ④やや苦しい
- ⑤苦しい
- ⑥不明

Q34. 経済状況



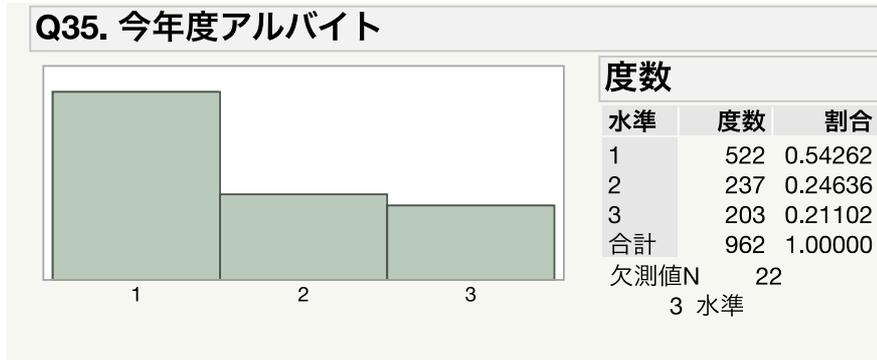
度数

水準	度数	割合
1	70	0.07284
2	68	0.07076
3	432	0.44953
4	237	0.24662
5	100	0.10406
6	54	0.05619
合計	961	1.00000
欠測値N	23	
6 水準		

最頻値は3（普通）で約 45%である。なお、4（やや苦しい）と5（苦しい）をあわせると約 35%が経済状況について苦しいと回答していることがわかる。

Q35 今年度のアルバイトについて選んでください。

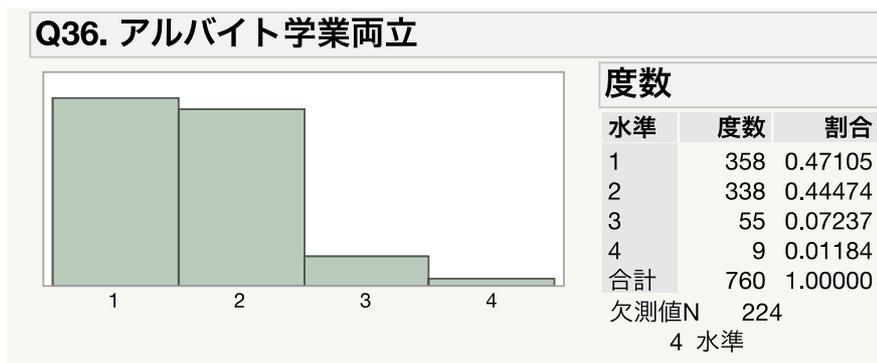
- ①常時している／いた
- ②時々している／いた
- ③していない



最頻値は1（常時している／いた）で約54%であった。

Q 36 Q35 で①～②を選んだ方は、アルバイトと学業の両立はできていますか。

- ①できている
- ②ある程度できている
- ③あまりできていない
- ④まったくできていない

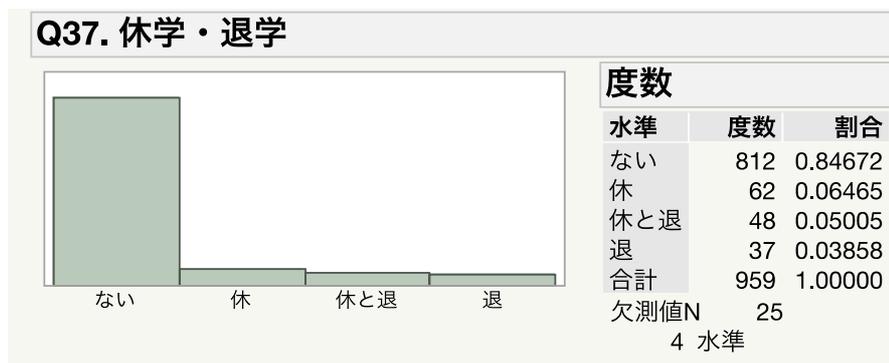


1（できている）と2（ある程度できている）を合わせると、約92%の学生についてアルバイトと学業の両立ができていることが見てとれる。ただし一方で3（あまりできていない）と4（まったくできていない）の割合を合わせると、約8%の学生がアルバイトによって学業に支障をきたしていることが気になる。奨学金などの支援制度の利用促進や、金銭面を理由とした修学継続に関する悩み相談がしやすい仕組みづくりの必要性がうかがえる。

【休学・退学】

Q37 休学や退学を考えたことがありますか

- ①休学を考えたことがあるが退学を考えたことはない [休]
- ②退学を考えたことがあるが休学を考えたことはない [退]
- ③休学と退学の両方を考えたことがある [休と退]
- ④休学も退学も考えたことがない [ない]

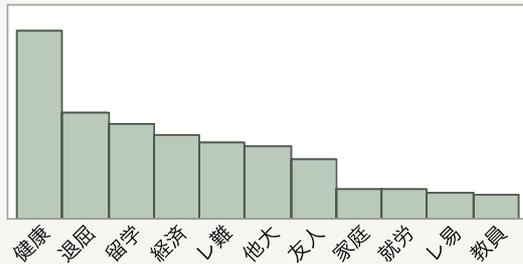


最頻値は「ない」（休学も退学も考えたことがない）で約 85%であった。一方で、昨年度より減少したものの全体の約 15%の学生が休学もしくは退学を検討したことがあるとわかる。

Q38 Q37 で①～③を選んだ方は、その理由を教えてください(主なものを 2 つまで)

- ①授業が難しい／成績が振るわない等 [レ難]
- ②授業が易しすぎる／授業のレベルに不満である等 [レ易]
- ③授業に興味を持たない／授業がつまらない等 [退屈]
- ④教員とうまくいかない等 [教員]
- ⑤大学で友人関係がうまくいかない等 [友人]
- ⑥経済的事情 [経済]
- ⑦家庭の事情 [家庭]
- ⑧心身の健康面 [健康]
- ⑨留学・ワーキングホリデーのため等 [留学]
- ⑩他大学への入学・入学 [他大]
- ⑪働きたい [就労]

Q38.休学・退学理由

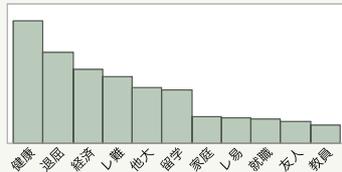


度数

水準	度数	割合
健康	52	0.24074
退屈	29	0.13426
留学	26	0.12037
経済	23	0.10648
し難	21	0.09722
他大	20	0.09259
友人	16	0.07407
家庭	8	0.03704
就労	8	0.03704
し易	7	0.03241
教員	6	0.02778
合計	216	1.00000
欠測値N	1752	
11 水準		

参考：2021 年度

Q37. 休学退学理由



度数

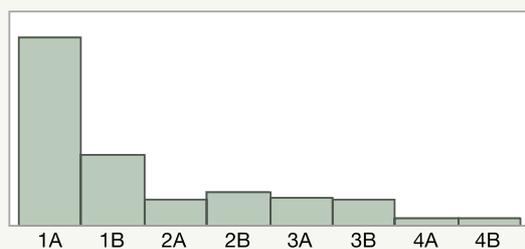
水準	度数	割合
健康	96	0.21477
退屈	71	0.15884
経済	58	0.12975
し難	52	0.11633
他大	43	0.09620
留学	41	0.09172
家庭	20	0.04474
し易	19	0.04251
就職	18	0.04027
友人	16	0.03579
教員	13	0.02908
合計	447	1.00000
欠測値N	3197	
11 水準		

Q37.において、休学もしくは退学を考えたことがあると回答した学生は102人であり、回答した人数に対する割合を見てみると、「健康」（心身の健康面）が約51%であった。次いで「退屈」（授業に興味を持たない／授業がつまらない等）が約28%と続いており、昨年度と同じ回答が高率になっている。

Q39 Q37で①～③を選んだ方は、最初に考え始めた時期はいつ頃ですか。

- ① 1年次前期（夏休みを含む） [1 A]
- ② 1年次後期（春休みを含む） [1 B]
- ③ 2年次前期（夏休みを含む） [2 A]
- ④ 2年次後期（春休みを含む） [2 B]
- ⑤ 3年次前期（夏休みを含む） [3 A]
- ⑥ 3年次後期（春休みを含む） [3 B]
- ⑦ 4年次前期（夏休みを含む） [4 A]
- ⑧ 4年次後期（春休みを含む） [4 B]

Q39. 休学・退学時期



度数

水準	度数	割合
1A	63	0.50000
1B	23	0.18254
2A	8	0.06349
2B	11	0.08730
3A	9	0.07143
3B	8	0.06349
4A	2	0.01587
4B	2	0.01587
合計	126	1.00000

欠測値N 858

8 水準

1A（1年次前期（夏休みを含む））の回答が最も多く、学年があがるごとに減少していることが観察できる。1年次の回答の割合が突出して高いことは昨年度も確認できた傾向であり、注意したい。

10. 本学への意見等 [自由記述]

このセクションでは、Q40（本学への意見等）に対する自由記述の結果を報告する。

Q40 本学への意見等、自由に書いてください。

「特にありません」に類するものが13件。それを除いて実質的なコメントを書いたものが227件あった。それらを1件毎に精査し、言及している内容で分類し帰納的にラベル（下位コード）を付与していった。1件の中で複数の内容に言及しているものは複数の下位コードを付与した。類似の内容はひとつの上位コードにまとめた。以下、コード毎に該当件数によって降順にソートして示す。

<全体的な分布>

▼ ● 📁 コードシステム	361
> ● 📁 施設／設備について	123
> ● 📁 授業について	76
> ● 📁 大学全体の印象について	38
> ● 📁 学生へのサポートについて	22
> ● 📁 学費・経済面について	14
> ● 📁 コロナ禍について	11
> ● 📁 課外活動について	10
● 📁 自身の決意・自身に対する戒め	9
> ● 📁 立地について	8
● 📁 特定の部局・教職員に係る不満の表明	8
> ● 📁 友人との関係について	7
> ● 📁 学生のマナー	7
> ● 📁 ダイバーシティについて	5
> ● 📁 創立100周年について	5
● 📁 学生の意見の吸い上げに関する要望	5
● 📁 学内の情報へのアクセスに関する要望	5
● 📁 学内システムへの不満・要望	4
> ● 📁 アンケート調査について	4

全該当件数 361 のなかで施設／設備についての意見が最も多く、昨年度と比較して有意に増加していた。次いで、授業について、大学全体の印象について、学生へのサポートについて、の声が多かった。以下、それぞれの上位コードを展開した下位コードの分布を示す。

<施設／設備について>

▼ ● 施設／設備について	0
> ● 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	25
● スクールバスに関する不満・要望	23
● Wi-Fi環境に関する不満・要望	21
● 飲食物施設に関する不満・要望	19
● 施設がよい・満足だ	9
● 設備に関する不満・要望	9
● 空調設備・気温調節に関する不満・要望	7
● トイレの設備・備品に関する不満・要望	5
● 板橋校舎の工事に関する不満・要望	5

施設／設備を新たに使用したいという要望や、範囲を拡張して欲しい、利用時間を延長して欲しいという意見が最も多かった。具体的な内容は以下の通りである。

▼ ● 施設・設備を利用可能に・範囲・時間をより長く	0
● 雨風をしのげる場所がほしい	3
● ロッカーがほしい	3
● コンビニエンスストアを増やしてほしい	3
● トレーニングルーム・ジムを使いたい	2
● 課外活動で使用できる施設を増やしてほしい	2
● 屋根を大きくしてほしい	2
● 自習スペースを増やしてほしい	2
● エスカレーターを設置してほしい・階段が多い	2
● 休憩スペースがほしい	2
● 図書館の利用時間を長くしてほしい	1
● 給湯器がほしい	1
● ウォーターサーバーを設置してほしい	1
● 公衆電話がほしい	1

次いで多かったのは、スクールバスに関する意見である。特に目立ったのが、運転手やスタッフの態度に関する声で、昨年度と比較して圧倒的に増加している。続いて多かったのは、運行本数、混雑に関するコメントだった。

■バス乗り場での怒鳴るような警備員さんの対応が本当に怖かったです。バスでの通学が苦痛でした。

■テストの際に、遅れないようにと電車やバスのことを考えると不安になる。バスの増便を希望します。

■バスが混むのが嫌です

(原文ママ)

続いて多く見られたのは、Wi-Fi 環境が悪いという意見だった。

■Wi-Fi が弱すぎて、使い物になりません。現在の通信環境では、オンライン設備が備わっているとは言えないと感じました。サーバーの強化又は Wi-Fi のアクセスポイントを倍以上に増やしてほしいです。

■とにかくWiFi 環境の改善を早急に行ってもらえれば言うことなしです。

(原文ママ)

次いで、食堂等の飲食物提供施設に関する不満・要望が多かった。

■学食は席の数が少ない上、メニューも少ないのであの学生数が同じ時間にすれば長蛇の列ができすぐに売り切れることは間違い無いですよ。せつかく学食という安くて学生特権のものなのに食べられず、結局は近くの飲食店まで足を伸ばして少し高いご飯を食べることになる。もうコロナは第5類になるのだから、1号館の地下1階の食堂？も開くべきである。

■食堂のメニューが少なく、値段が高いのを改善して欲しい。

■東松山キャンパスのように板橋キャンパスにもキッチンカーがあるといいと思います

(原文ママ)

<授業について>

▼ ● 授業について	0
> ● 授業内容への不満・要望	21
● 教員に対する不満・要望	12
● 諸々の決定・通知に関する不満・要望	9
● 評価への不満・要望	9
● 授業に満足している	8
● 時間割・単位の設定に関する不満・要望	8
● 教員に満足している	6
● 講義数・種類に関する不満・要望	3

授業については、授業内容への不満・要望の声が最も多かった。特に、オンライン授業を増やして欲しいという意見が多く見られた一方、オンライン授業に対する不満の声も少数ではあったが確認できた。その他、授業内容に関するコメントを以下に挙げる。

■授業をもっと魅力的なものにしてほしいです。YouTube を垂れ流すだけの授業もありました。

■1年次に必修の***** (学生支援センター注:講義名)はレジユメの内容を読んでいるだけに過ぎないように感じた。

■授業内容や担当教員の魅力についてはかなりの差があり、同じ科目が出席番号で割り振られた時に、学生間の中でも大きく影響を受けた。

■もう少し授業内でグループ活動をして欲しい。友達がいないので、話す場を設けて友達を作りたい。

■授業のペアワークを減らして欲しいです。

(原文ママ)

対面形式の授業へ移行したこともあってか、映像や資料を見る受動的な授業方法への不満や、グループ活動を伴う能動的な学びに関する要望が寄せられた。一方で、「ペアワークを減らして欲しい」との回答も少数ではあるが確認でき、希望を細やかに把握し、より多くの学生が充実した学びを得る工夫が求められる。

次いで、教員に対する不満・要望、諸々の決定およびその内容の通知をもっと早くして欲しいという声、評価に関する不満・要望が多かった。具体的な記述を以下に示す。

■学生の意見を尊重する教員もいるが、教員側がこちらに対し偉そうな発言や人間として失礼な発言をしたり(私の話を遮り最後まで話を聞かずに自分の言い分を少々強く押し付ける、怒鳴ったりするなど)態度が悪かったりと不快な思いをして学生生活の質が大変下がり、学生生活に大変不安を感じている。

■全体的に通知を早くしてほしい。テストの時間割など特に、バイトのシフトの関係的に早めに出してくれると予定を出しやすいので。一か月前には出してほしい。早めに決められない理由があるなら、教えてほしい。

■以前、授業には出ているのにも関わらず、manabaで課題を提出しなかったため、欠席扱いになってしまいました。授業に出なくても、課題を出せば出席になってしまうと、授業に参加しなくてもよいという考える学生が増えるのではないかと思います。今回、課題の提出しを忘れたのは、自分自身の問題ですが、90分間しっかりと授業を聞いていたのにも関わらず課題提出をしなかったという理由で、欠席扱いになってしまうことに少し納得がいきません。

(原文ママ)

<大学全体の印象について>

▼ ● 大学全体の印象について	0
● 大学に満足だ・入学して良かった・充実していた	24
● 本学は学歴に関する社会の評価や「偏差値」が低い	5
● 魅力が増すよう大学には努力してほしい	4
● 入学時に抱いていたイメージよりよい大学だった	3
● 不満だ	2

大学全体に関わるコメントとしては、昨年度に引き続き、「入学して良かった」「充実していた」といった肯定的なコメントと、大学名に関する世間的な評価に苦しむコメントのいずれも、依然として確認された。「入学当初は希望の大学に入れなかったことや、いわゆる『学歴フィルター』に不安を感じていたが、大学生活を送ってみたら楽しかった」、あるいは、「入学してみたら意外に良い大学だと感じたが、大学名に対する世間の評価が高くないのが辛い」という要約が多くの学生に当てはまると考えられる。

■受験で落ちて大東に来たので、学生生活の始めはマイナスな気持ちでしたが、大学生活が思いのほか楽しくて充実しており、この大学に来たことも運命だな、と思うようになりました。高校生の自分に自慢したいくらい、楽しい4年間でした。

■ちょうど1年前の頃は、大学も決まっておらず、不安であった。入学を決め、大学生活に期待すると同時に、不安が募るばかりであった。しかし、授業が始まってみるとそんな不安も吹っ飛んだ。初日から仲良くなった友人は、いまでは課題を教え合ったり、他愛もないことで長電話したりする仲だ。また、ひよんなことから同じ学科の留学生と仲良くなり、それをきっかけにほかの留学生とも交流するようになった。サークルや部会では先輩にも恵まれ、楽しく活動している。1年前の自分が見たら、日々の充実さにとても驚くことだろう。この学校に入学して本当に良かったと思う。

■入学時はここが第一希望で学びたいことが合った反面、学歴フィルターについても考えてしまい、期待と不安の半々だった。しかし授業や友人との出会い、スピーチコンテストや現地研修(オンライン)での活動を通して、自分と大東が好きになった。あと一年で卒業ですがたくさん学んで楽しんで悔いなく先へ進もうと思う。

■知名度や偏差値を上げるために何か、他大学と比較したときに強みになる物事に取り組みたいのでそういった要素を追加してほしい。

■普通もしくは普通以下の人たちが通う学校
(原文ママ)

<学生へのサポートについて>

▼ ●🗨️ 学生へのサポートについて	0
●🗨️ 学生へのサポートへの不満・要望	13
●🗨️ サポート・対応に満足している	9

サポート・対応に満足しているという声があった一方、不満・要望も見られた。具体的な記述を以下に示す。

■キャリアセンターの方達の温かいお言葉や、質の高い講義などにはとても感謝していますし、ここまで来れたのも大東文化大学の教職員の方々のおかげです。#引き続きお世話になります。よろしく願いいたします。いつも感謝しています。

■コロナの影響でうつを発症してしまいましたが、優しい先生方のおかげで、3年生から立ち直ることができ感謝しています。

■学生相談室の存在がとても支えになりました。様々な制度、設備、サポート等のおかげで、4年間とても過ごしやすかったです。本当に有難うございました。

■コロナ禍に入ってから相談出来る所が減り、本当に辛かったです。相談しても職員さん達に余裕が無いのかきつく当たられることも多々あり、不信感が募りました。心身の調子を崩して学内カウンセリングにかかったときも、不適切な対応をされました。また、ハラスメントについて相談した時も「その先生の個性」と言われて自分の傷ついた気持ちを蔑ろにされた経験がありました。キャリア支援課での卒業後の進路のフォローも充分とは思えませんでした。進学という選択肢が最初からなく、就職以外の支援が皆無でした。

■キャリアセンターのキャリアアドバイザーの人数をもう少し増やしてほしいです。予約が一週間以上先になることが多々あり、ES等の添削が間に合わないこともあります。上記が難しければ、職員対応の枠を増やして頂くだけでも、多少は状況も変わるかなと思いました。

■大学側としては学生活動(サークル部活)への協力性は低いのではと考えられる部分もある。現在コロナ禍の被害にあい活動が制限され部員の数が少なくなっており学生自治会の崩壊の危機にあると私は前々から考えている。その危機からの脱却回復をめざし日々活動をしているがその活動の中で大学の臨機応変性の無さに毎回当たってしまう。昔の規定またはその規定から厳しくなってそれを適応させている様子では恐らく学生活動は衰退をし続けるのではないかと思う。

(原文ママ)

上記の回答から、学生と直接関わる機会が多い教員や部署のサポートの質が、対応者によって大きく異なったり、学生による評価に差が出たりしていると考えられる。

また、対面形式の授業への移行が進んだ2022年度においても、依然としてコロナ禍が学生生活や学生の健康に大きな影響を及ぼしている点にも注目すべきだろう。こうした状況下において、すべての学生が均質で十分なサポートを受けられるよう、コメントを真摯に受け止め必要に応じて対応しなければならない。

<学費・経済面について>

▼ ●🗳️ 学費・経済面について	0
●🗳️ 経済的に苦しい/学費が高い	9
●🗳️ 施設・設備を使用していないのに学費を支払っている	3
●🗳️ 奨学金を必要な学生に公平に配分してほしい	2

学費・経済面に関して、やはり「経済的に苦しい」、「学費が高い」という声が多かった。また、2022

年度はほとんどの授業が対面形式で実施されたにも関わらず、2021年度に引き続き、「オンライン授業によって大学の設備が使えない（使えなかった）のに、従来通り学費の納付が求められるのは不適當である」といった声が多かった。入学時から十分に大学の施設・設備やサービスを利用できなかったという不満感が、キャンパスへの通学が可能になった現在においても学生の意識・心理に影を落としている可能性がある。コロナ禍と直接関係ないものとしては、奨学金の配分に関する意見が確認された。

■看護学科の学費が高すぎるため、奨学金のみでは支払うことができず学校以外の時間はほとんどバイトに費やしている。そのため、もう少し学費を安くするか、この大学で利用可能な給付型奨学金をもう少し増やしてほしい。

■学費が高すぎる。学費が高くてもいいサービスなどが受けられると思っていたがそんなことなく、授業の準備が少ない先生や、生徒への対応が適当や雑な職員がいることが非常に残念。

■コロナ禍でオンライン講義になったのにも関わらず学費に変化がなかったことに不満を感じる。せめて施設の費用などのオンライン化によって使用されなかったものに対する費用の削減はできたと思う。仮にそれができなかったとしてもそれが出来ないことに対する説明が不十分だった。

■温故知新奨学金は、各学部各学科における学生数に応じて給付されるべきである。現在の制度では、人数の多い学科は大きく損をしている。各学生に平等なチャンスがないのは、大東文化大学の理念に反しているのではないか。

■奨学金の分類わけの基準を家族の収入量に設定されているため、自分の様に一切家族からの援助がないものは見かけ上は奨学金制度を利用するに値しないが、実際は己のみでやっていかなければいけないのだからしんどい。貸与ではなく、給付にしてもらいたい。

(原文ママ)

<コロナ禍について>

▼ ●🗨️ コロナ禍について	0
●🗨️ コロナのため大学生活が損なわれた	8
●🗨️ コロナに起因する制限を緩和してほしい	2
●🗨️ コロナの状況が落ち着いて大学生活が改善された	1

コロナ禍によって従来のような大学生活が損なわれて残念だという声に加え、社会情勢に合わせてコロナ禍に伴う制限を緩和して欲しいという要望があった。

■コロナ禍で所属していた文化部の活動が出来ず、ほぼ廃部状態になってしまったのも残念です。

■コロナ関係の規制が厳しすぎる。お世話になった先生にも会えない、校舎にも入れない、世の中の空気やル

ールはどんどん進化しているのに本校だけこんな最後で残念です。

■コロナのせいで本来受けるテストが変わってしまったりしたので、マスク着用の義務化がなくなる今年はテストに関する制限を少し緩和するのはどうでしょうか？

(原文ママ)

<課外活動について>

▼ ●● 課外活動について	0
●● 課外活動へのサポートに関する不満・要望	6
●● 使用できる設備を増やしてほしい	2
●● 課外活動に満足だ	2

課外活動については特に、大学によるサポートに関する不満・要望の声が多かった。

■育成運動部にも力を注いで欲しい

■サークル参加への導線を増やして欲しい

■学内の施設や課外活動団体等について知らないことが多いので、それらについて詳しい情報が知りたいなと思いました。

(原文ママ)

コロナ禍に関する回答では、感染拡大の影響で課外活動を含む活動の機会が損なわれたとの指摘があった一方、「サポートを充実させて欲しい」、「課外活動に取り組みたい」という趣旨の要望が確認でき、学生生活に関してコロナ禍からの回復に期待する意識が見られる。

<自身の決意・自身に対する戒め>

自分自身の決意表明としては、そのすべてが、気を引き締めて更に努力してゆきたい、といった前向きなものであった。

<立地について>

▼ ●● 立地について	0
●● 東松山キャンパスより板橋キャンパスのほうが良い	4
●● 交通機関に関する要望	4

立地については、東松山キャンパスよりも板橋キャンパスに通いたい、という声があった。また、交通機関に関する要望も見られた。具体的な記述を以下に挙げる。

■出来れば1年時から板橋の方が通学距離が短く済んだので、学部ごとに4年間同じキャンパスの方が良いのでは無いかと感じました。

■東武練馬駅のアクセスが少し悪いので、普通だけでなく準急か快速は止まって欲しい。
(原文ママ)

<特定の部局・教職員に係る不満の表明>

特定の部局や教職員に関するコメントについては、該当部局がわかる場合には必要に応じて伝達したうえで対応の必要性の有無の判断を仰ぎたい。

■コロナなのに大学にいけなくなったら「友達に見せてもらえ」という講義があったが、コロナで知り合いがいないのにどうする？欠席してしまったらなす術なし。急に同じ講義の人に話しかけて見せてもらえなんてハードルが高すぎないか？そのような学生はかわいそうであり、それで単位が取れないなんて本末転倒ではないか？このご時世なのに manaba や DB ポータルを有効活用せずに資料の配布をしない。今の時代に全くそぐわないですね。

■教職課程センターとキャリアセンターの職員の対応と態度が悪い。話し方が生徒を見下しているような話し方をしている。職員の対応研修行った方が良くと思う。それぐらい年長に行くに連れて対応が最悪。話を聞いているだけで不愉快。
(原文ママ)

<友人との関係について>

▼ ●🗨️ 友人との関係について	0
●🗨️ 友人に恵まれた	4
●🗨️ 友人に恵まれなかった	3

友人に恵まれたという記述と、友人に恵まれなかったという記述が同数程度確認できた。コロナ禍で損なわれた学生同士の関係性を再構築できるよう、さらなる努力が求められる。

<学生のマナー>

▼ ●🗨️ 学生のマナー	0
●🗨️ 他の学生の不適切な行為への指摘	5
●🗨️ 指導が不足している	2

他の学生の不適切な行為への指摘や、それに対する大学の指導不足に関する意見があった。

<ダイバーシティについて>

▼ ● ④ ダイバーシティについて	0
● ④ 施設のバリアフリー化に取り組んでほしい	4
● ④ 学生の男女比率を同程度にしてほしい	1

施設のバリアフリー化に取り組んで欲しいという意見と、学生のジェンダー比率を改善して欲しいという要望があった。ダイバーシティに関する関心が出てきていることがうかがえ、真摯に受け止め対応する必要がある。

■板橋校舎 3 号館 3 階の東側にも、多目的トイレを設置してほしい。

■色覚障害の生徒に配慮するために、蛍光チョークを導入してほしい。特に赤色は認識しやすく、蛍光チョークの早期導入が求められる。

■階段が少し多いと感じます。バリアフリーなデザインにすることが大事だと思います。

■男女比率をどの学部も同じくらいにして欲しい。男子が多いと差別に感じる。

(原文ママ)

<創立 100 周年について>

▼ ● ④ 創立100周年について	0
● ④ 100周年に向けてよりよい大学になるとよい	2
● ④ 創立100周年に関する祝い	3

PR の取り組みを一部の学生が認知しているためか、創立 100 周年に関するコメントが寄せられた。大学全体の印象については、本学の世間からの評価が低いことに対する不安の声が寄せられたが、こうした試みによって学生たちがより本学に親しみを感じ、入学したことを誇れるようになることを期待したい。

■現在でも充実した学習環境はありますが、100 周年となる来年度もさらに良い学生生活を送ることのできる場になればと思います。

■大東文化大学学園様、設立 100 周年、心よりお祝い申し上げます。次の 100 年に向け頑張ってください。

(原文ママ)

<学生の意見の吸い上げに関する要望>

学生の意見を大学の運営に反映させて欲しいとの要望があった。こうした声の根底には、「現状大学側は学生の意見を聞き入れていない」という不満があるといえ、学生の認識を把握し大学の運営に反映さ

せる努力が引き続き求められる。

■学生がいなければ大学は成り立ちませんよね。学生の声をたくさん聞いてたくさん反映させないとどんどん学生数が減っていってしまいますよ。ぜひ、楽天などにある授業の口コミサイトを見てください。他学部も含めて。そうしたら学生のリアルな声が匿名などでたくさん載っていますよ。真摯に声を受け止めるべきです。

■大学生の要望を気軽かつ常時やっているものがなく、大学生の意見が反映されていない気がします。真ん中に文化がある大学かもしれませんが、それよりも生徒を中心としたサービスを提供してほしいです。

(原文ママ)

<学内の情報へのアクセスに関する要望>

授業や、大学が提供しているサービス、大学生活、施設・設備等に関する情報が欲しいとのコメントが寄せられた。学生が大学のサービス等を有効活用できるよう、諸々の情報へのアクセスを整える必要がある。

■来年度から変わる新しい授業などを含めて、自分がどんな授業を取れるのか全体像を把握したいので、それがわかる資料が欲しいです。

■現在、就職活動中だが、キャリアセンターの使い方もあまり分かっていないので、説明とかががあると助かると思う。

■先輩の各教科の勉強法が聞けたり、どのように大学生活を送っているか知れる機会が欲しいです。

■学内の施設や課外活動団体等について知らないことが多いので、それらについて詳しい情報が知りたいなと思いました。

(原文ママ)

<学内システムへの不満・要望>

DB ポータルや BIND.note 等の学内システムに関する不満・要望があった。

■BIND.note を開くと 3 回に 1 回くらいログインに失敗したりパスワードを入れないといけなくなるのをなんとかしてほしい。

■DB ポータルのスマホ版で使える機能を増やして欲しい

(原文ママ)

<アンケート調査について>

▼ ●🔍 アンケート調査について	0
●🔍 アンケートに関する情報が不十分だ	2
●🔍 自分の回答に目を通してもらえないのではないかという懸念	2

■このアンケートの URL がメールになくて探したので、URL を貼ってくださるとありがたいです。

■他の学校の実情を知らないので何とも言えないが、東松山校舎の方は wife が弱くきちんと接続されず不快。奨学金の分類わけの基準を家族の収入量に設定されているため、自分の様に一切家族からの援助がないものは見かけ上は奨学金制度を利用するに値しないが、実際は己のみでやっていかなければいけないのでかなりしんどい。貸与ではなく、給付にしてもらいたい。おそらくここに書いても無駄だろうが。

(原文ママ)

アンケート調査について、周知や情報提供が不十分であることに対する指摘、回答に目を通してもらえないのではないかという懸念のコメントがあったことは真摯に受け止めたい。特に後者については、学生の大学に対する信頼に関わる指摘であり、意見の吸い上げに関する要望とも関連して注意が必要だろう。本アンケートの結果についても可能な限り学生の声が反映される方向で働きかけてゆきたい。

以上